

平成 29 年度
自己評価報告書
(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

平成 30 年 6 月

I G L 医療福祉専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	基準5 学生支援.....	38
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-16 就職等進路.....	39
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-17 中途退学への対応.....	42
基準2 学校運営.....	4	5-18 学生相談.....	45
2-2 運営方針.....	5	5-19 学生生活.....	48
2-3 事業計画.....	6	5-20 保護者との連携.....	50
2-4 運営組織.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	51
2-5 人事・給与制度.....	8	基準6 教育環境.....	54
2-6 意思決定システム.....	9	6-22 施設・設備等.....	55
2-7 情報システム.....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	56
基準3 教育活動.....	11	6-24 防災・安全管理.....	57
3-8 目標の設定.....	12	基準7 学生の募集と受入れ.....	58
3-9 教育方法・評価等.....	15	7-25 学生募集活動は、適切に行われているか.....	59
3-10 成績評価・単位認定等.....	20	7-26 入学選考.....	60
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	23	7-27 学納金.....	61
3-12 教員・教員組織.....	26	基準8 財務.....	62
基準4 学修成果.....	30	8-28 財務基盤.....	63
4-13 就職率.....	31	8-29 予算・収支計画.....	64
4-14 資格・免許の取得率.....	33	8-30 監査.....	65
4-15 卒業生の社会的評価.....	36	8-31 財務情報の公開.....	66

基準 9 法令等の遵守	67
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	68
9-33 個人情報保護.....	69
9-34 学校評価.....	70
9-35 教育情報の公開.....	71
基準 10 社会貢献・地域貢献	72
10-36 社会貢献・地域貢献.....	73
10-37 ボランティア活動.....	74

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成 29 年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>教育理念：「隣人愛」～自分を愛するよう にあなたの隣人を愛しなさい～</p> <p>「隣人愛」とは、苦しみを持つ人に対して、その人と自分との過去の関わりや、国籍、思想の違いを超えて、その人の必要に応える行為を行おうとすることです。相手を受け入れ、自分を愛するよう に、他者を愛することで、自らが苦し みを持つ人にとっての「隣人」になろう とする愛を持ち、心からの奉仕ができる 人間を育てたいという願いを込めて、こ の言葉を教育理念として掲げています。</p> <p>校訓：「自信と謙遜」～オンリーワン。世 界中で自分という存在はただ一人であ って、かけがえのない命なのです～</p> <p>真に自分に自信がある人は、他人に対 し寛容となり、相手の立場を受容し譲 ることもでき、謙遜の徳を持って世の光 として輝き、奉仕に徹することが可能と なります。</p> <p>学生の皆さんは、「自分という存在はた だ一人」であって、それほどにかけが えない生命をこの世に授けられていると の認識を持って、学びを通じて成長して 貰いたいとの期待が込められている校訓 です。</p> <p>目標：教育理念及び校訓をもとに、職業 教育・言語教育を通して、実践的な知識・ 技能を有する人材を育成し、社会に信頼 される学校を目指す。</p>	<p>1 平成 26 年（2014 年）4 月姉妹 校統合により、教職員が融合し、協 力して業務遂行が可能である状況 をつくる。</p> <p>2 福祉と医療に関する専門知識を 習得し、健康で明るい社会を創造す る人材の育成と、日本の大学等に入 学を希望する外国人留学生に対し て、日本語教育及び文化等の教育を 行い、高等教育を受けるに必要な日 本語力を養う。</p> <p>ついては、国家資格取得 100%を 目指すとともに、留学生には中国人 N2 合格、ベトナム人 N3 全員合格 を目指す。</p>	<p>1 全教職員が最大限の努力をして いる。理念的に協力体制を築こうとす る努力は旺盛だが、「学生が主役」の 旗印が学生の学力向上に直結してい ない。</p> <p>2 学校が学ぶ環境として最適条件 を有しているという自覚を、教職員・ 学生ともに持ってきた。</p> <p>国家資格合格率は鍼灸学科 83.3%、 口腔保健学科 100%であり、柔整学科 は 77.8%であった。介護福祉学科は 90.5%であった。日本語学科は、N3 －31 名、N2－8 名、N1－1 名の合格 者を出した。</p> <p>国際教養コミュニケーション学科 は、N2－8 名、N1－2 名の合格者 を出した。</p>	

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成 5 年（1993 年）IGL 健康福祉専門学校を創設して、介護福祉士の養成を始めた。</p> <p>平成 13 年（2001 年）IGL 医療専門学校を並び設け、はり師・きゅう師、柔道整復師の養成を始めた。平成 19 年（2007 年）、IGL 医療専門学校に歯科衛生士養成を行う口腔保健学科を設けた。</p> <p>平成 21 年（2009 年）10 月、IGL 健康福祉専門学校に日本語学科を併設した。</p> <p>近年、定員割れが続き、将来的に少子化傾向が予想されることを背景に、平成 26 年（2014 年）姉妹校が統合した。</p> <p>介護福祉学科、日本語学科の IGL 健康福祉専門学校と、医療系の鍼灸学科、柔整学科、口腔保健学科の IGL 医療専門学校は、別々の道を歩んできたので、それぞれ固有の性格を有していた。固有の性格を生かし、その良さを発揮させながら統合するためには、困難な状況が生ずる事が予想された。校長のリーダーシップの下、教職員が「隣人愛」の精神を体現して、活力ある新たな学校を創造する課題に直面している。</p> <p>この課題解決のために、学校法人が専門学校経営実態を把握し、中長期基本計画（5 年間、平成 30～34 年度）を策定した。</p>	<p>今年度、学校法人が専門学校経営実態を把握し、中長期基本計画（5 年間、平成 30～34 年度）を策定したため、この計画の実現を目指す。</p>

最終更新日付	2018 年 6 月 29 日	記載責任者	野村 敏之
--------	-----------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	理念・目的・育成人材像について明確に定めて周知、徹底することは重要であると考えている。	学則・校訓等により学校の目標を明確にしている。 教職員に事業計画を配布し、認識を共有している。	特になし	学則 学校 HP 学生便覧 学校案内パンフレット 事業計画
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	職業教育・言語教育を通して実践的な知識・技能を有する人材育成である。学生指導方針を明確にし、各学科で指導を行うことは重要であると考えている。	業界等の協力による校外実習を実施している。 教育課程編成委員会で業界等のニーズを把握してシラバスに組み込んでいる。	特になし	学生便覧 シラバス
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	学生実態を把握して、医療・福祉等の実践力を養う教育課程を組むことは重要であると考えている。	各学科で独自の教育内容を教材化し、シラバスに組み込む。 特色ある教育活動を学生募集に生かしている。	業界等のニーズに即応した教育目標をたてる。	シラバス
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	社会のニーズ等を踏まえて将来構想を計画することは重要であると考えている。	本年度 12 月に本部と学校が協働して中長期基本計画を策定した。中長期基本計画の実現を目指して平成 30 年度事業計画を策定した。	各学科が毎年度の事業計画実現のためにアクションプランを立てていく。	事業計画 中長期基本計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念「隣人愛」・校訓「自信と謙遜」を掲げてきた。普遍的に生きる知恵を学校教育を通じて身に付ける取り組み等を実施している。	中長期基本計画（5年間、平成 30～34 年度）を策定した。毎年度の事業計画を立て、その実現を目指す。

最終更新日付

2018 年 6 月 29 日

記載責任者

野村 敏之

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校法人 IGL 学園の経営方針に基づき、平成 26 年 4 月姉妹校が統合した。定員割れを続けてきた IGL 学園は統合を契機として、再活性化を図る。学則に定めた学校の目的を達成するために、本年度 12 月に中長期基本計画を策定した。</p> <p>中長期基本計画実現のために、平成 30 年度事業計画を立て、法人本部と学校が密なる連携を取るために本部経営企画室の新設を決定した。</p> <p>教職員の労働意欲喚起を目的とし、信賞必罰の人事考課のために、公平公正さを担保した人事・給与制度の確立に向かっている。</p> <p>校務運営組織と委員会により、教育目標実現のために、着実な歩みを進めている。</p>	<p>平成 26 年 4 月姉妹校統合は、少子化する社会構造変化に伴って定員充足率低下に対応するためであった。このたび中長期基本計画（5 年間）が示されたので、教職員が経営の現状を把握して、学校の将来展望を共有したいと思っている。</p> <p>経営目標を明確に示して、目標実現のために教職員が如何に貢献すべきか、どのように貢献したかを評価する人事・給与制度を確立する。</p>

最終更新日付	2018 年 6 月 29 日	記載責任者	野村 敏之
--------	-----------------	-------	-------

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	学則に定めた目的、及び各々を達成するための教育目標に基づき、事業計画を定め、実施している。	学科長は教育目標に基づき、教育計画等を作成している。事業計画は、理事長の承認を得て全教職員に周知している。	特になし	学則 事業計画 中長期基本計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>毎年、校長を中心に事業計画を定めている。</p> <p>学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことを重要と考えている。</p> <p>全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学科の教育成果に繋がっている。常に業界等のニーズに対応した事業計画をこれからも作成するように努める。</p>	<p>従来から教育に係る中期計画（3年間）、単年度事業計画を立案・点検してきた。収支実態と連動した中長期基本計画が明らかにされたので、中・長期的視点に立った経営と学校の将来像の実現に向かう。</p>

最終更新日付

2018年6月29日

記載責任者

野村 敏之

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	理念等、教育目標を達成するために事業計画を適切に実行することは重要であると考えている。	中長期基本計画（5年間）、事業計画を校務運営会議で作成し理事長の承認を得ている。	中長期基本計画（5年間）実現のための来年度事業計画を策定した。その実現のために各学科がアクションプランを固めていく。	事業計画 中長期基本計画（5年間）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会において前年度の事業報告及び本年度の事業計画の承認を得て事業が適正に進められている。諸事情による変更もあるが、ほぼ計画通りに実行できている。	中長期基本計画（5年間）実現のための来年度事業計画を策定した。その実現のために各学科がアクションプランを固めていく。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	野村 敏之
--------	------------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	寄付行為に基づき適正に行うことを方針としている。	理事会、評議員会は寄付行為に基づき適切に開催され、必要な審議を行い、議事録も作成されている。	特になし	校務運営組織図 理事・評議員・監事名簿 法人寄付行為
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営を円滑に遂行するため組織を整備することは重要であると考えている。	中長期基本計画（5年間）実現のために校務運営組織図に本部経営企画室を設けた。	特になし	委員会等規程集（目次） 校務運営組織図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事長の下、ディレクター、学校法人事務長、多機能分野に活躍している秘書室長が学校を支えており、本部組織、校務運営組織がその機能を発揮している。中長期基本計画（5年間）実現のために、校務運営組織図に本部経営企画室を設けた。	「人は城、人は石垣」のとおり、重要人物が柔軟な適合力を発揮しながら、相互調整している。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	野村 敏之
--------	------------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	教職員の採用に当っては諸規程を整備して運用することが重要であると考えている。	教職員の勤務評価を行っていない。授業アンケートは現在授業改善のツールとして機能させている。	中長期基本計画実現のために、勤務評価と給与・人事を連動させ、また、その評価に公平性を保たせ、証拠に基づく教職員管理が可能となる就業規則を整備しつつある。	自己申告書 就業規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念実現のために、適切な人材が集まっているが、勤務評価と人事・給与制度を連動させ、現在の給与待遇が適当か判断するためにも、IGLが将来持続発展するためにも、人事・給与制度を整えつつある。	中長期基本計画実現のために、勤務評価と給与・人事を連動させ、また、その評価に公平性を保ち、証拠に基づく教職員管理が可能となる就業規則を整備しつつある。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	野村 敏之
--------	------------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	意思決定システムを整備することは重要であると考えている。	校務運営組織図、各種委員会規程に則って運営している。	諸規程を整備し、権限を明文化することが必要と考えている。設置者の意思を明確にして、第三者評価に耐えうる学校運営をする必要がある。	校務運営組織図 委員会等規程集（目次）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設置者が経営状況分析して、中長期基本計画（5年間）を策定した。第三者評価に耐えうる学校運営を進めていく。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	野村 敏之
--------	------------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	業務の効率化を図るためには不可欠であると考えている。	2校統合により新しく学生管理システムを導入した。本校業務遂行のために導入した新システムが円滑に稼働している。	メンテナンス及びセキュリティにおける体制の確立も必要である。	学校法人 IGL 学園情報公開規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
旧医療専門学校・旧健康福祉専門学校の統合を機に、一元的なデータ管理を行うため、学生管理システムを導入した。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	野村 敏之
--------	------------	-------	-------

基準3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>介護福祉学科、鍼灸学科、口腔保健学科は、それぞれ平成 24 年度（2012 年度）の活動実績を基盤として、平成 25 年度（2013 年度）「職業実践専門課程」文部科学大臣認定を受けた。柔整学科は、これまでの活動実績を基にして、平成 27 年度（2015 年度）文部科学大臣認定を受けた。</p> <p>介護福祉学科、鍼灸学科、柔整学科、口腔保健学科はともに厚生労働省指定教育課程による国家資格取得を目指す学科である。国家資格試験合格 100%を実現する責任がある。</p> <p>さらに、国家資格を土台として利用者、患者さんから喜ばれる介護・医療サービスを提供する専門職業人材養成施設である。</p> <p>卓越又は熟達した実務の知識・経験に基づく高度の専門的かつ実践的な能力を育成するために、「教育課程編成委員会」を設置した。業界等のご意見をいただいて、教育課程を編成し、シラバスを作成している。</p> <p>学生が修業年限に応じた学習成果を上げているか、教員は、知識・技術の伝達に留まらず、学生の基本的な生活習慣が確立されて勉学の実が挙げられているかを確認する為に、授業アンケートを実施する。その結果を活用して指導力向上に努める。</p> <p>学生の学習成果向上のために、学校は組織的に動く。教務方、事務方が機能し、自己点検・評価、学校関係者評価を行う。</p> <p>上記のことは概ね方向性として実行されており、第三者評価（私立専門学校等評価研究機構の様式使用）に耐え得る学校になることを目指す。</p> <p>教育計画の遂行、学習成果の充実・改善のために、教員研修と必要な人材の確保に努める。</p>	<p>「職業実践専門課程」文部科学大臣認定学科（平成 26 年 3 月 31 日） 介護福祉学科、鍼灸学科、口腔保健学科</p> <p>「職業実践専門課程」文部科学大臣認定学科（平成 28 年 2 月 19 日） 柔整学科</p>

最終更新日付

2018 年 6 月 29 日

記載責任者

賀川 一樹

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成 方針、実施方針を定めているか	理念に沿った教育の実施方針 を定めることを方針としてい る。	<p>●介護福祉学科 介護に必要な専門的知識や技術を 身につけ、豊かな心と相手の気持 ちに寄り添うことのできる介護福 祉士を目指し、職業人として専門 性、人間性、自己教育力を高めな がら主体的に働けるよう学生を育 成している。教育課程の編成は学 科会議、教務委員会で定め、学生 便覧に明記している。</p> <p>●鍼灸学科 中期計画に社会の変化やニーズに 対応できる「ハイレベルな鍼灸師」 の養成を目指すことを目標に掲 げ、教育課程の編成をしている。</p> <p>●柔整学科 中期計画にて、卒業時に国家試験 合格に必要な知識を持った上で、 実際に施術のできる即戦力のプロ を養成することを目標にあげ、教 育課程の編成をしている。</p> <p>●口腔保健学科 中期計画に基づき技術力、人間力 に優れた歯科衛生士を養成するこ とを目標とし、カリキュラムの編 成を行っている。</p>	文書化して外部に公表し ていないため、今後 HP 等での公表を検討する。	中長期計画

		<p>●日本語学科 留学生が目標とする大学等に入学し、学生生活に困難を感じないだけの日本語能力を身に付けさせる。</p> <p>●国際教養コミュニケーション学科 外国人留学生が、国際社会に貢献するための人材を育てる。</p>		
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	理念に沿った学科毎の教育目標の達成に向けた教育課程を編成することは重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 介護福祉士の国家資格取得を教育到達レベルとしている。資格取得に向けて教育課程を編成し、指導・支援を実施する体制を確立している。</p> <p>●鍼灸学科 はり師・きゅう師の国家資格取得を教育到達レベルとしている。資格取得に向けて教育課程を編成し、指導・支援を実施する体制を確立している。</p> <p>●柔整学科 柔道整復師の国家資格取得を教育到達レベルとしている。資格取得に向けて教育課程を編成し、指導・支援を実施する体制を確立している。</p> <p>●口腔保健学科 歯科衛生士の国家試験合格を教育到達レベルとし、実技については各学年で到達レベルを定め、指導及び支援を行う体制を確立している。</p> <p>●日本語学科 中国人留学生は日本語能力試験 N2 合格、ベトナム人留学生は N3 合格を取得目標として明示している。</p>	特になし	資格取得状況一覧 教育課程表 シラバス 事業計画

		<p>●国際教養コミュニケーション学科 クラスごとに日本語能力の目標を定め、学生が能力に応じたクラスで学習できるような教育課程を編成している。 N3 未満レベルで入った学生は確実にN3 合格、N3 レベルで入った学生はN2 合格を目標として明示している。</p>	<p>学生にも担当教員にも目標は明示しているものの、結果は芳しくなかった。学習意欲や教育能力を向上させるために、引き続き目標を周知していく。</p>	
--	--	---	--	--

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念・校訓に基づいた教育課程の編成・実施方針、学科ごとの修業年限に応じた教育到達レベルを明確に示している。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	厚生労働省指定基準等に基づいて教育課程を編成することを方針としている。	<p>●介護福祉学科 厚生労働省指定基準に基づいて教育課程を編成している。本校独自の教育内容を盛り込んでいく。本校独自の取り組みとして、DT(ダイバーショナルセラピー)プログラムを実施している。</p>	<p>本校独自の教育内容を盛り込み、教育成果を高めしていく。 プログラム修了証の全員獲得を目指し、指導・助言を行う。</p>	<p>シラバス 教育課程表 DTプログラムに関する資料</p>
		<p>●鍼灸学科 厚生労働省指定基準に基づいて教育課程を編成している。本校独自の取り組みとして、トレーナー育成プログラムを実施している。</p>	<p>さらに本校独自の教育内容を盛り込み、教育成果を高めることを検討していく。</p>	<p>シラバス 教育課程表 スポーツトレーナー育成プログラムに関する資料 シラバス 教育課程表</p>
		<p>●柔整学科 厚生労働省指定基準に基づいて教育課程を編成している。本校独自の取り組みとしては、卒業研究の授業を実施している。学生自身が考え作り出すことで、自主性を育成する取り組みを行っている。トレーナー育成プログラムを実施している。</p>	<p>本校独自の教育内容を盛り込み、教育成果を高める。カリキュラム上、重要項目となる科目の復習授業を設けている。 また、業界の動向を伝えるべく、業界関係者の講演などを設置している。</p>	<p>スポーツトレーナー育成プログラムに関する資料</p>
		<p>●口腔保健学科 厚生労働省指定基準に基づいて教育課程を編成している。また、本校独自の取り組みとして、コミュニケーション学やマナーの授業を通し、コミュニケーション能力の向上にむけた取り組みを実施している。</p>	<p>本校独自の教育内容を盛り込み、教育効果・成果を高める。</p>	<p>シラバス 教育課程表</p>

		<p>●日本語学科 「中国人学生 N2、ベトナム人学生 N3」の目標を達成するための教育課程を編成している。</p>	前年度の合格実績を踏まえ、効果的な課程や試験対策を盛り込む。	特になし
		<p>●国際教養コミュニケーション学科 日本語のみならず、大学、社会生活で必要とされる知識、技術を身に付けるための技術を展開している。</p>	本校独自の教育内容を盛り込み、教育成果を高める。	
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	業界等関係者に参加をさせていただき教育課程編成委員会を実施して、外部意見を反映させることは重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 介護実習で現場の声を聴くとともに、教育課程編成委員会で業界関係者の声を聴き、教育課程編成の参考になっている。</p>	さらに多くの業界関係者から意見を収集するために、実習先等を通じて現場の意見を聴く機会を増やす。	シラバス 教育課程編成委員会での提言に対する取り組み
		<p>●鍼灸学科 教育課程編成委員会で業界関係者の声を聴き、教育課程編成の参考になっている。</p>		
		<p>●柔整学科 教育課程編成委員会で業界関係者の声を聴き、教育課程編成の参考になっている。</p>		
		<p>●口腔保健学科 教育課程編成委員会や臨床実習先の歯科医院での意見を聴き、教育課程編成の参考になっている。</p>		
	学外研修や非常勤講師の意見を取り入れ、教育課程を編成することが大切だと考えている。	<p>●日本語学科 外部から授業見学に来てくださった方の感想や非常勤講師からの意見を反映させている。</p>	特になし	特になし

		<p>●国際教養コミュニケーション学科 研修で学んだことや非常勤講師からの意見を反映させている。</p>	大学の教員や就職活動の面から考えた意見を採用し、学生の様々なニーズに応えられるカリキュラム作成をする必要がある。	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	専門知識・技術・技能に加えて、社会人に必要な基礎力を修得するためにキャリア教育が重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 通常カリキュラムに加え、コミュニケーションに特化した特別講義を実施している。関係施設に出向き、直接コミュニケーションを図ることにより、さらにコミュニケーション能力の向上に努めている。</p>	現在の授業のみでは不十分でありキャリア教育の体系化を図ることを検討する。	シラバス 教育課程編成委員会での提言に対する取り組み
		<p>●鍼灸学科 医療面接の科目でコミュニケーションについての授業を行っている。また、コミュニケーションに特化した特別講義を実施している。</p>		
		<p>●柔整学科 通常カリキュラムに加え、医療面接を授業科目に取り入れコミュニケーションについての授業を行っている。 更に、トレーニング指導者（JATI）資格をトレーナー育成プログラムで取得させることを推進する。</p>	現在の授業のみでは不十分である。平成30年度入学生から国語・コミュニケーションを導入した。また、キャリア教育の体系化を図ることを検討する。そのために業界の意見を聴取する。	シラバス 教育課程編成委員会での提言に対する取り組み 日本トレーニング指導者協会（JATI）資料
		<p>●口腔保健学科 通常カリキュラムに加え、コミュニケーションに特化した特別講義を実施している。また、企業から外部講師を迎え、業界のニーズを踏まえたキャリア教育を行っている。</p>	現在の授業だけでは不十分であるため、キャリア教育の体系化を図ることを検討していく。	シラバス 教育課程編成委員会での提言に対する取り組み

		<p>●日本語学科 入学から卒業までのキャリア教育カリキュラムを作成し、それに基づいて実施している。また日本で活動している卒業生や外国人をゲストとして招き、在校生に話をしてもらっている。</p>	<p>外国人ゲストのスケジュールと授業時間との調整が毎年難しく、実現が不定期になるので、次年度に向け検討していく。</p>	<p>特になし</p>
<p>3-9-4 授業評価を実施しているか</p>	<p>授業改善のためには、教える立場の視点のみでは十分でなく、学習者の視点での評価が必要であると考えている。</p>	<p>●国際教養コミュニケーション学科 キャリア教育では、入学から進学、就職までのイメージを描かせることで学習に対する動機づけを行うとともに、計画性をもって物事に当たることができる能力を育成している。</p>	<p>●介護福祉学科 授業アンケートを実施し、学生からの意見や情報を共有し、学科長より各教員にフィードバックし、助言・指導を行う。集計結果の活用は教員個々に任している。</p>	<p>進学先の選択の幅を広げるために、提供する進学先の情報量を増やしたい。</p>
		<p>●鍼灸学科 授業アンケートを実施し、集計結果を学科長と各教員にフィードバックしている。問題がある教員には学科長が指導・助言をしている。</p>	<p>授業アンケートの結果をもとに、授業内容を把握し、改善策を検討する。</p>	<p>授業評価アンケート 授業アンケート集計</p>
		<p>●柔整学科 授業アンケートを実施し、学生からの意見を共有している。方法として、学科長が各教員にフィードバックをし、指導または助言をしている。</p>		

		●口腔保健学科 授業アンケートを行い、結果を学科長と各教員にフィードバックしている。		
		●日本語学科 半年ごとに行う授業アンケートの集計結果を各教員に返却する際、学科長による面談を行っている。	昨年度の後期は、学科長面談を実施できなかったため、スケジュールを早めに調整する。	
		●国際教養コミュニケーション学科 半期ごとに授業アンケートを行い、各教員に結果を渡す際に学科長面談を行っている。	面談前に授業見学を行うなど、アンケートの結果だけに頼らないよう実践的な話し合いになるよう努める。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
厚生労働省指定基準ならびに日本語教育振興協会等の教育課程に準じた授業運営を行っている。教育効果を高めるため、創意工夫を重ねていく。	医療・福祉系 4 学科は、厚生労働省指定基準があるため、独自の教育内容を盛り込む余地が少ない。業界等外部の意見等に対し柔軟な対応で業界との風通しの良い状況を作り、教育効果が高い取り組みを検討したい。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
<p>3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか</p>	<p>成績評価等の基準を明確化し、適切に運用することは重要であると考えている。</p>	<p>●介護福祉学科 成績評価・単位認定基準は学生便覧に明示し、教員は基準に従って成績評価をしている。また、入学前に修得した単位の認定基準を学生便覧に明示し行っている。</p>	<p>特になし</p>	<p>学生便覧</p>
		<p>●鍼灸学科 成績評価・単位認定基準は学生便覧に明示し、教員は基準に従って成績評価をしている。また、入学前に修得した単位の認定基準を学生便覧に明示し行っている。</p>		
		<p>●柔整学科 成績評価・単位認定基準は学生便覧に明示し、教員は基準に従って成績評価をしている。但し、国家試験合格を最大の目標とするため、臨機応変に対応する。また、入学前に修得した単位の認定基準を学生便覧に明示し行っている。</p>	<p>基本的には、学則等に記載している基準に従うが、国家試験合格を最大の目標とするため、臨機応変に対応する。対応としては、学力不足の学生に対しての個別指導を徹底する。</p>	
		<p>●口腔保健学科 成績評価・単位認定基準は学生便覧に明示し、教員は基準に従って成績評価をしている。また、入学前に修得した単位の認定基準を学生便覧に明示し行っている。</p>	<p>特になし</p>	

		<p>●日本語学科 成績評価・単位認定基準は学生便覧に明示し、教員は基準に従って成績評価をしている。</p>	特になし	特になし
		<p>●国際教養コミュニケーション学科 成績評価・単位認定基準は学生便覧に明示し、教員は基準に従って成績評価をしている。</p>	成績会議を行い、間違いなどを防ぐためのチェック態勢を敷いている。	
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	学会等の研究発表会は学生の学びの集大成と考えており、積極的に外部の学会や研究発表会に参加する方針である。	<p>●介護福祉学科 広い視野を持つ機会を得るために、介護に関わる研修会・発表会（介護実習報告会・介護の日フェスタ・ケアコンテストなど）へ参加を促している。</p>	学生に対し、実習終了後にアンケートを実施し、フィードバックをして今後に生かせるようにする。施設側にもフィードバックを行い、教育（指導）体制の向上を図る。	研修会・発表会等のパンフレット
		<p>●鍼灸学科 以前は東洋療法学校協会主催の学術大会で研究発表を行っていたが、ここ数年は発表を希望する学生がおらず参加していない。</p>	学生に研究発表の意義を説明し参加を促す。	特になし
		<p>●柔整学科 教員が学外における学会発表等を行うように、学生に対し積極的に働きかけている。</p>	学生に学外における研究発表の意義を説明し、継続的に参加を促していく。	
		<p>●口腔保健学科 学生の卒業研究は学会発表レベルに達していないことが多く、前年度の卒業研究を参考に、新たな試みを追加するかたちで研究の継続と蓄積を図っている。</p>	特になし	

		<p>●日本語学科 スピーチコンテストなどの応募を学生にも告示し、参加・受賞した学生は掲示・SNS・たより IGLなどで積極的に報告している。</p> <p>●国際教養コミュニケーション学科 作文、スピーチコンテストなどがあれば、告知を行い、参加を呼び掛けている。参加があった場合には、学内で報告を行っている。</p>	<p>参加の意義等をしっかりと説明することで各種コンテストの告知を強化し、参加者の増加を図りたい。</p>	<p>研修会・発表会等のパンフレット</p>
--	--	---	---	------------------------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>成績評価ならびに単位認定は学校教育の総決算であり、教育指導力の結果である。修業年限に応じた学習課題、最終学習到達目標として把握されるものであるため、透明性を高めると同時にその基準は公示されなければならない。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
<p>3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか</p>	<p>目標とする資格等を明確に位置づけることは重要であると考えている。</p>	<p>●介護福祉学科 介護福祉士を養成する学校であるので、明確に位置づけられており、国家試験対策授業も行っている。</p> <p>●鍼灸学科 はり師・きゅう師を養成する学校であるので、明確に位置づけられており、国家試験対策授業も行っている。</p> <p>●柔整学科 柔道整復師を養成する学校であるので、明確に位置づけられており、国家試験対策授業も行っている。</p> <p>●口腔保健学科 歯科衛生士を養成する学校であるので、明確に位置づけられており、国家試験対策授業も行っている。</p> <p>●日本語学科 日本語能力試験を目標とした教育課程を設定している。</p> <p>●国際教養コミュニケーション学科 N3 未満レベルの入学生には確実に N3 合格、N3 レベルの入学生には N2 合格を目指した教育課程を設定している。また日本留学試験の対策授業を行い、高得点を目指す。</p>	<p>特になし</p>	<p>学校パンフレット 学生便覧 シラバス 事業計画</p> <p>特になし</p>

3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	高い合格率をあげるためには、指導体制を構築することは重要であると考えている。	●介護福祉学科 各教科に特講の授業を設け、国家試験対策授業を行っている。平成 29 年度学力評価試験において、全国平均を上回る正答率となっている。	国家試験に向け、早期からの取り組みをはじめ、個人のレベルに合わせた内容課題を与え、全体のレベル向上を目指す。合格レベルに到達していない学生に対し、個別指導を行う。	教育課程表 シラバス 行事予定
		●鍼灸学科 カリキュラムに国家試験対策授業を組んでおり、模擬試験も年 5 回実施している。成績不良者には勉強会や特訓を実施している。また、不合格者に対して 1 年間無料で授業が受けられる聴講制度を設けている。	3 年次だけではなく、1、2 年次の早い時期から学習習慣を身につけていくことが重要である。	教育課程表 シラバス 行事予定 授業聴講制度資料
		●柔整学科 カリキュラムに国家試験対策授業を組んでおり、模擬試験を年 7 回実施している。成績不良者には勉強会や補講を実施している。また、不合格者に対して 1 年間無料で授業が受けられる聴講制度を設けている。既卒不合格者に対しての国家試験対策を、8 月から 2 月にかけて行った。	主要教科にはそれぞれの科目に繋がるものを設定する。解剖学ならびに生理学に関しては復習授業を、柔道整復学には口頭試問でアウトプットの学習方法を前年同様設置し、国家試験問題に繋がる方法をとっていく。不合格者に対しては、国家試験対策に特化した講座を前年度同様 8 月より開催し、さらに授業聴講制度も同時開催し、資格取得へバックアップしていく。	教育課程表 シラバス 行事予定 授業聴講制度資料 柔道整復師国家試験合格対策講座資料

	<p>●口腔保健学科 2年次から「総合演習」という科目で月1回模擬試験を行っている。3年次では7回の模擬試験を行い、成績に応じて補講及び指導を行っている。</p>	特になし	教育課程表 シラバス 行事予定
	<p>●日本語学科 1年生のうちから、段階的に日本語能力試験対策授業をカリキュラムに組み込んで実践している。また、定期的に模擬試験を実施している。</p>		特になし
	<p>●国際教養コミュニケーション学科 能力試験と留学試験に特化した授業をそれぞれ行い、目標達成を目指している。授業の質を向上させるために、試験対策本部を立ち上げ、教員を育成している。</p>		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
厚生労働省の国家資格取得を目指す学科と日本語能力検定合格を目指す学科がある。教育課程上における位置づけは明確であるが、教育指導の質にバラツキがみられるため、教務部が組織的に指導力の向上を図る体制を整えつつある。	学科の中期計画ならびに各教員の自己申告書等により、指導力向上を目指している。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	厚生労働省指定教育課程等に対応した、資格・要件を備えた教員を確保することは重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 厚生労働省指定教育課程に対応した、資格・要件を備えた教員を確保している。</p>	高い指導力を持った教員の採用と、内部研修を進めていく。	中期計画 教員名簿
		<p>●鍼灸学科 あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則で定められた資格・要件を備えた教員を確保している。</p>		
		<p>●柔整学科 柔道整復師に係る学校養成施設認定規則で定められた資格・要件を備えた教員を確保している。</p>	高い指導力を持った教員の採用と、内部研修を進めていく。さらに、教示可能科目以外の国家試験対策を遂行できるスキルを他教科授業聴講等により各教員が上げていく。	
		<p>●口腔保健学科 厚生労働省指定教育課程に対応した、資格・要件を備えた教員を確保している。</p>	高い指導力を持った教員の採用と、内部研修を進めていく。	
		<p>●日本語学科 日本語教育振興協会の基準を満たした教員を確保している。</p>	特になし	
		<p>●国際教養コミュニケーション学科 専修学校の設置基準を満たす教員を確保している。</p>		

<p>3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか</p>	<p>専門性の資質向上への取組みは重要であると考えている。</p>	<p>●介護福祉学科 介護福祉士養成施設協会主催の教職員研修会や教育学会に参加している。 介護福祉士国家試験対策セミナーに参加している。</p>	<p>特になし</p>	<p>研修等の実績 研修会の報告書</p>
<p>●鍼灸学科 東洋療法学校協会主催の教員研修会に参加している。また、関連業界団体が主催する様々な研修に参加している。</p>				
<p>●柔整学科 柔道整復師学校協会や接骨医学会主催の教員研修に参加している。 その他、各種関連業界団体が主催する様々な研修に参加している。</p>				
<p>●口腔保健学科 全国歯科衛生士教育協議会主催の歯科衛生士専任教員講習会や歯科衛生士教育学会、業界団体の研修会などに参加し、情報を共有している。</p>				
<p>●日本語学科 各教員が外部研修に参加し、学んできた内容を会議などで共有している。また校内で定期的に校内研修会を実施している。</p>				

		<p>●国際教養コミュニケーション学科 各教員が外部研修に参加し、学んできた内容を会議や打ち合わせの際に共有している。また学内でも専任、非常勤講師が参加する日本語教育能力に関する研修を行い、指導力の向上に努めている。また、試験対策本部を立ち上げ、試験対策のスペシャリストを養成している。</p>	<p>試験対策本部に割く時間をもう少し確保できるよう、日々の業務の効率を上げる必要がある。</p>	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	<p>組織体制を整備し、業務分担等を構築することは重要であると考えている。</p>	<p>●介護福祉学科 学科会議を毎月行い、学科内の連携・協力体制を図っている。関連する科目に関しては、教員間（非常勤教員含む）でコミュニケーションを図り、つながりのある授業を展開している。</p> <p>●鍼灸学科 毎月学科会を行うことで学科内の連携・協力体制がとれている。非常勤講師との連携は担任を中心に行っている。</p> <p>●柔整学科 毎月学科会を開催し、学科内の連携・協力体制を取っている。同科目の強化に関しては、教員間でコミュニケーションを密に取ることで、つながりのある授業を展開している。兼任（非常勤）の授業に関しては、常勤教員が聴講し、学生へ勉強方法などをレクチャーしている。</p>	<p>特になし</p>	<p>校務運営組織図</p>

		●口腔保健学科 毎朝ミーティングや学科会（月1回程度）で情報を共有し、連携をとっている。		
		●日本語学科 学科内での業務分担を行い、学科長の指揮の下に逐次報告しながら業務を進めている。		
		●国際教養コミュニケーション学科 学生の学力向上のための情報交換を密に行う。専任教員の負担が大きくなるよう、授業担当者の選別を行う。 学内全体の協力体制を強化するために、組織に必要とされる人材になることを目指す。	学科内、日本語学科とは連携をとっているが、学校全体の体制には積極的に参加しているとは言い難い。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
厚生労働省指定国家資格取得者養成施設、日本語教育振興協会指定校であり、資格・要件を整えている。中期計画実現に向けて全体で組織的な取り組みを展開していく。	特になし

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、福祉と医療に関する専門知識を習得し、健康で明るい社会を創造する人材の育成と、日本の大学等に進学を希望する外国人留学生に対して、日本語教育及び日本文化等の教育を行い、高等教育を受けるに必要な日本語力を養う教育機関である。</p> <p>したがって、それぞれの国家資格・日本語能力検定等を取得して、実技を大切に熟練した職人技を身に付けることを目指す。国家資格は 100%合格、就職希望者の 100%就業、全員希望校への進学を目指す。</p> <p>入学してきた学生が、多様な問題を抱えているが故にその課題を解決して、実力ある職業人・卒業生となるように、教職員が協力して指導する。</p> <p>同窓会について、統合までは IGL 健康福祉専門学校同窓会、同医療専門学校同窓会として独自に活動してきた。統合後は I G L 医療福祉専門学校同窓会として、卒業生の支援をして頂く。個々人の力量によって世渡りをしていくが、同業者としての情報交換・研修を通じて資質向上に努めようとされている。</p> <p>学生支援システム「インフォクリッパー」によって、入学前情報・学習成績・卒業後の進路先情報の一元管理を行う予定である。「インフォクリッパー」の機能を発揮させて、卒業生支援を行えると期待している。</p>	<p>鍼灸学科及び柔整学科 3 年生全員・2 年生の希望者を対象に、鍼灸院・接骨院・医療福祉機関等の求人希望者との「就職説明会」を学校で開催した。</p>

最終更新日付	2018 年 6 月 29 日	記載責任者	賀川 一樹
--------	-----------------	-------	-------

4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職希望者全員の就職を目指している。就職委員会を中心に就職担当者が積極的に取り組むことが重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 就職担当が全学生に向け定期的に就職ガイダンスを実施、就職に向けて段階的に指導しつつ、個人別に状況を把握し適切な支援を行う。また、施設等との情報交換を行い、就職のマッチングに活用する。</p>	<p>キャリア教育導入により、学校全体の職業意識向上を図る。 進路アンケートで学生の就職希望などを把握する。 求人票を学生が閲覧しやすい場所に設置し、早期就職に結びつける。</p>	就職支援業務予定表 就職状況一覧
		<p>●鍼灸学科 3年生担任が学生の就職活動を個人別に把握し、適切な就職支援・指導を行っている。また、学校独自の就職説明会を実施している。</p>	特になし	
		<p>●柔整学科 就職担当が学生の就職活動を個人別に把握し適切な就職支援・指導を行うとともに外部企業を招き、学校独自の就職説明会を実施している。希望者は100%就職している。</p>	<p>履歴書レクチャーなどマナーの強化を行っていく。 各学生の就職活動状況の把握を担当だけではなく、学科ならびに就職委員会でも把握するシステムを作る。 また、求人票を学生が閲覧しやすい場所に設置し、就職を早期に意識させ、学業へのモチベーション向上を図る。</p>	

	<p>●口腔保健学科 6月に就職説明会を行ったのち、求人票を公開している。担任を中心に各教員が就職についてアドバイスをを行い、12月中に就職先が決まるよう指導を行っている。希望者は就職率100%である。</p>	<p>歯科衛生士としてのキャリアアップを視野に入れた就職指導ができるよう、教員が精力的に情報収集を行う。</p>
	<p>●日本語学科 本学科は就職を目標とする学科ではないため、就職指導は希望者に個別に実施している。</p>	<p>今後就職希望者が増加する可能性を検討し、その時に備えて情報を集めておく。</p>
	<p>●国際教養コミュニケーション学科 本学科は就職を目標とする学科ではないため、就職指導は希望者に限定して個別で行う。進学に関しては、授業時間外に個人面談や面接練習を行うことで、全学生が自信を持って入試に臨める状態になるよう指導をしている。</p>	<p>本学科は就職を目標とする学科でないとの考えに基づき、実際に就職希望の学生がいると判明した時点で、適切に対応できず、後手に回ってしまった感がある。就職活動を支援するためのシステムを構築する必要がある。</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>求人数が求職者数を大きく上回る状況が近年続いており、就職環境は極めて良好であるが、職業意識の向上にむけ、十分な教育をする必要がある。キャリア教育を理論的に把握して教材作成を行うとともに、カウンセリング機能を果たすべく、キャリアカウンセラーの養成を目指す。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	資格・検定取得について、学生全員が合格するようにサポートすることが重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 全員が合格するよう個別指導を放課後実施している。各教科に特講を設け、国家試験問題や模擬問題を繰り返し行い、根拠に基づいた解説をし、理解度を図っている。</p>	<p>介護福祉士国家試験合格に向け、学生全体の能力アップ、および合格率を上げるための対策授業を行う。学生一人ひとりのレベルに応じた授業展開の工夫をする（模擬試験を実施し能力別に 2 つのクラスに分ける）。</p>	資格取得状況一覧 シラバス 入学前サポート資料
		<p>●鍼灸学科 合格率 100%を目指して指導を行っている。国家試験対策授業を設けている他、成績不良者には勉強会や特訓を実施している。平成 29 年度の合格率は、はり師 83.3%、きゅう師 91.7%であった。（全国平均：はり師 73.9%、きゅう師 78.5%）</p>	<p>国家試験の難易度がさらに上がった。合格するレベルだった学生が不合格となった。今後は教員の国試に対する認識を改め、以前より高いハードルを設定して学生を指導する。</p>	

		<p>●柔整学科 全員が合格するよう個別指導を放課後実施している。さらに、必修対策講義を設置し理解度を図った。さらに入学前サポートプログラムにより、入学後の不安を取り除くシステムを構築した。平成 29 年度新卒合格率が 77.8%であった。(受験者のみの合格率：82.5%) (全国新卒合格率：78.5%)</p>	<p>1 年次より、国家試験重要科目では復習となりうる授業を設置することで、専門科目に繋がる専門基礎科目の知識向上に努める。 2 年次にも、重要科目の復習授業を設置し、国家試験に備えるよう知識の定着を図る。さらに、3 年次には主要科目の項目進行をリンクさせる内容に変更する。 入学する学生の状況も年々変化している。学生個々の状況を考慮し、入学前から教育プログラムで来校させてのサポートも例年通り行う。</p>	
		<p>●口腔保健学科 学力のみでなく、生活態度や勉強方法の指導をすることで国家試験の合格率及び平均点は向上している。 国家試験合格率 100% (新卒、既卒とも)、平均点 165 点、全国平均で平成 29 年度合格率 96.1%であった。</p>	<p>2 年次学生に国家試験に対する早期の意識づけを行い、これまでと同様にきめ細かく、臨機応変に指導をしていく。</p>	
		<p>●日本語学科 日本語能力試験合格者数の目標人数を設定し、全教員がそれを意識して指導している。</p>	<p>積極的なチャレンジを推奨しているため、合格率は低い。それでも、日本語学科においては合格者数の方が重要だと考えるため、この方針で指導を行う。</p>	特になし

		<p>●国際教養コミュニケーション学科 学生の気付きによって学ぶことを重視する授業を行うことで、「自ら考える学生」を育成する。試験結果は教員間で共有し、次年度の指導に活かすべく、授業の改善に取り組んでいる。また、試験合格者に対して特別奨学金を授与することで、モチベーションの向上を図っている。</p>	<p>合格率を上げるための対策授業の内容改善を常時行う。</p>	
--	--	--	----------------------------------	--

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>職業教育学校として、全員の国家資格取得が目標となる。日本語能力試験（JLPT）は中国人留学生 N2、ベトナム人留学生 N3 以上の合格が目標。目標達成に向け、入学時から個々の状況に応じた適切な指導を行っていく。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の活躍により業界等から学校に対する評価が上がり、在校生の就職につながっていくことが一番の社会的評価だと考えている。	●介護福祉学科 実習担当者が実習巡回先で卒業生の状況の把握に努めている。	卒業生の動向を十分に把握できているとは言えない。同窓会と連携し情報を把握することを検討している。	特になし
		●鍼灸学科 同窓会とも連携し、卒業生の動向の把握に努めている。卒業生の開業先をファイルにして保管している。	長期休暇を利用し、教員自身が卒業生の治療所に伺って近況を確認した。また、特別講師として卒業生を招聘した。	同窓会 HP 親子スキンタッチ教室チラシ
		●柔整学科 同窓会とも連携し、卒業生の動向の把握に努めている。卒業生の開業先をファイルにして保管している。	卒業生の動向を十分に把握できているとはまだ言えないため、同窓会との連携を強化し、情報把握に努める。 さらに、「良い学生は良い職場に」をテーマに企業情報も把握し、企業にマッチングした人材を送ることで、卒業生の評価も上げるものとする。 定期的に就職先を訪問し、学生の状況把握をしていく。通信媒体での学生からの報告も記録していく。	同窓会 HP

		<p>●口腔保健学科 実習担当者が実習巡回先で卒業生の状況の把握に努めている。また、同窓会役員を通じて卒業生の把握に努めている。</p>	<p>卒業生の動向を十分に把握できているとはまだ言えないため、同窓会との連携を強化し、情報把握に努める。</p>	特になし
		<p>●日本語学科 本校を訪ねてくる学生やパンフレットや DVD に出演の卒業生などについては、詳細に実態を把握している。</p>	<p>実態を把握できている卒業生の人数は少ない。卒業生が在籍する学校の担当者と話す機会が得られたときに、近況を調査する。</p>	
		<p>●国際教養コミュニケーション学科 卒業生が進学した大学との連携を深め、良好な関係を築いている。また学生への指導として、大学進学後に模範となる学生となるよう生活指導、マナー向上を図っている。</p>	<p>今後も積極的に卒業生やその進学先と連携をとる。また大学で必要とされる学生像を調査し、マッチする人材を育てる。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>国家資格取得者が高く評価されるよう、業界事情の把握に努めるとともに、厚生労働省、日本語教育振興協会等と連携を取り、社会的地位の向上に寄与する。 同窓会との連携により、卒業生の活躍を把握し、在校生や世間に広く周知することで、職業に対する誇りを高め、学習意欲の向上を図る。</p>	<p>データ管理体制が未整備のため、卒業後の進路等の情報管理の一元化を実現したい。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>クラス担任と就職担当教員が連携をとりながら学生指導する体制になっている。</p> <p>入学した学生が全員卒業できるように日常の出欠状況、学生生活、授業態度等を確認し問題を早期に把握し、必要に応じて保護者と連携して対応している。</p> <p>経済的困難な学生に対しては、公的奨学金の紹介や学費の延納・分納を行っている。</p> <p>学生の健康管理は、法に基づき健康診断を行っている。</p> <p>本校の学生寮を提携して生活環境の支援を行っている。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	支援組織体制は、就職活動にきめ細かく対応するために重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 就職委員会と担任が連携して対応している。 学生の就職活動状況（見学会や説明会参加など）を報告書にて管理し、教員間で共有している。 履歴書の書き方（封書の宛名書きも含む）、面接の仕方、マナー（電話対応、身だしなみなど）について指導を行っている。 就職担当教員や担任が、学生からの進路に関する相談や質問に対して、面接などで適宜対応している。</p>	<p>積極性に欠ける学生の増加と個別就職相談の充実が必要である。 学生の就職に対する意識付けが必要となる。 履歴書の書き方や送付時の封書の宛名の書き方、面接におけるマナーなどの更なる指導が必要である。</p>	<p>就職状況一覧 就職説明会実施要項 マナー講座実施要項 委員会名簿</p>
		<p>●鍼灸学科 就職委員会と担任が連携して対応している。学生の就職活動状況を管理、共有している。 就職説明会を開催している。 マナー講座を開催し面接時のマナーや服装、髪型など指導している。 担任は就職に関わる悩みや質問に対し随時適切に応じるため、面談など体制を作っている。</p>	<p>就職担当者以外の教員が情報を共有するため、学生管理システムを有効に活用していく。 マナー講座に加えて履歴書の書き方指導をする。</p>	<p>就職状況一覧 就職説明会実施要項 マナー講座実施要項 委員会名簿</p>

		<p>●柔整学科 就職担当が学生の就職活動を個人別に把握し、適切な就職支援・指導を行うとともに外部企業を招き、学校独自の就職説明会を実施している。希望者は100%就職している。</p>	<p>履歴書レクチャーなどマナーの強化を行っていく。各学生の就職活動状況の把握を担当だけではなく、学科ならびに就職委員会でも把握するシステムを作る。 また、求人票を学生が閲覧しやすい場所に設置し、就職を早期に意識させ、学業のモチベーション向上を図る。</p>	<p>就職状況一覧 就職説明会実施要項 マナー講座実施要項 委員会名簿</p>
		<p>●口腔保健学科 6月に就職説明会を行った後、就職活動を行った場合、就職活動報告書を提出させ、活動状況を把握するとともに、教員間で情報共有を行っている。 就職について面談をおこない、就職支援の助言・指導ができる体制を整えている。</p>	<p>特になし</p>	<p>就職状況一覧 就職説明会実施要項 マナー講座実施要項 委員会名簿</p>
		<p>●日本語学科 本学科は就職を目指す学科ではないため、就職を支援する体制を設けていない。</p>	<p>特になし</p>	<p>特になし</p>
		<p>●国際教養コミュニケーション学科 本学科は就職を目的とした学科ではないため、支援組織は整備していない。 進路指導に関しては、日本語学科との連携のもと、情報収集、整理を積極的に行っている。</p>	<p>就職指導を必要とする学生が増えてきたので、システムを構築する必要がある。まずは留学生の就職に関する情報収集から着手し、組織作りを進めたい。</p>	<p>特になし</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>出口戦略としての就職・進学にも重きを置き、就職活動・進学受験対策への適切なフォローアップを欠かさず、日常的に行う。</p> <p>在学期間中のキャリア教育の構築ならびに理論的整理のため、キャリアカウンセラーの養成を目指す。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	相談体制を整備し、問題解決に適切に対応することが重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 一般教養が身に付いていない、学業に課題を持つ学生が多い。 授業内で理解度を確認しながら、個別に対応が必要な学生には、補講や面談、保護者との連携などで対応している。 入学前サポートを導入した。</p>	<p>学力低下、成績不振などの状態になっている学生を早期に発見し、対応することにより、学生の学習意欲の維持・向上を促し、より良い学生生活を支援する。 学業に課題を持つ学生には、入学前サポートを促す。</p>	退学状況一覧 入学前サポートプログラム資料
		<p>●鍼灸学科 成績不良により1名が退学した。成績不良者には早めに面談を行い、勉強会等の指導を行った。また、新規入学者を対象に入学前サポートプログラムを実施している。スクーリングを行い、予習をさせることにより、入学後スムーズに勉強に取り組めるようにする。</p>	<p>学力の低下が著しく、勉強についていけない学生が多い。入学後の勉強会だけでは不十分であるので、入学前から勉強する習慣を付けさせるため、入学前サポートプログラムの参加を積極的に促す。</p>	

		<p>●柔整学科 近年、学業に課題のある入学生が増えている状況にある。中途退学率は昨年度同様、約7%に抑えることができたが、勉強方法などでの退学もあることから、1・2年生に特別講義（生理学・解剖学）を行った。また、柔整学科独自の勉強会を週3回実施した。早期スクリーニングテストを実施した。入学前サポートも引き続き実施した。</p>	<p>学業に課題のある学生には入学前サポートを促す。入学前のサポートプログラムを柔道整復師養成向けに強化する。また、早期にスクリーニングテストを実施して勉強面での不安や心理面での不安を見つけて個別に面談できる環境をより良くする。</p>	
		<p>●口腔保健学科 退学要因は様々であるが、問題を早期に把握し、必要に応じて保護者と連携して対応している。</p>	<p>小さな問題を見逃さないように、日常のコミュニケーションを通じて感知し、早期把握、解決に努める。</p>	
		<p>●日本語学科 生徒指導記録を詳細につけ、起きつつある問題を随時把握し、その時にできる最善の対策を取っている。</p>	<p>交通規則違反のような、学校外で学生がとってしまう問題行動をどのように指導していけば防げるかを常に考える。</p>	<p>退学状況一覧</p>
		<p>●国際教養コミュニケーション学科 出席率低下による退学者を出さないために、学生の様子に気を配っている。生活管理の難しい学生には早い時点で面談を行い、改善を促している。面談の際には生活指導記録をつけ、教員間での情報共有を図っている。</p>	<p>平成29年度の退学者はいなかったが、常に気をつけて観察することが重要であると認識している。</p>	<p>特になし</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>クラス担任は出席簿の確認及び授業科目担当教員、クラスメイト等からの情報を小まめに収集し、日常の出欠席、遅刻確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的に行い、学生個々の状況を適切に把握し、退学の兆候を見逃さないようにする。</p> <p>経済的理由からの退学に関しては、奨学金制度等の活用で対応したい。</p>	<p>医療・福祉系 4 学科は入学前サポートプログラムを導入している。</p>

最終更新日付	2018 年 6 月 29 日	記載責任者	賀川 一樹
--------	-----------------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	相談体制を整備し、修学支援等を行うことは重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 学科教員間での情報共有をしっかりと行い、担任および学科で十分に対応できている。</p> <p>●鍼灸学科 学科教員間での情報共有をしっかりと行い、担任および学科で十分に対応できている。</p> <p>●柔整学科 学生相談室を利用するなど担任を中心に相談対応を行っている。面談記録を残す。担任のみでなく、学科教員間で情報共有に努めており、様々な視点から学生をサポートしている。 また、業務分掌を行い、学生が相談しやすい環境に努めた。</p> <p>●口腔保健学科 一次的な対応をクラス担任が行い、対応不能の場合は学科会において指導方針等を協議している。</p> <p>●日本語学科 担任が学生の様子を観察し、状況に応じて面談などでカウンセリングを行っている。言語的な問題がある場合は、留学生部による通訳に入ってもらっている。</p>	特になし	面談記録

		<p>●国際教養コミュニケーション学科 担任が学生の状況に応じて面談を行っている。担任一人で対応できない場合は、学科長、校長を含めた面談を行っている。</p>			
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	異文化社会での学校生活を支援するためのネイティブ担当者を置くなどの整備を行うことが重要であると考えている。	<p>●介護福祉学科 留学生生活指導委員会に定期的に参加している。 担任および留学生部が連携し対応している。</p>	留学生に関しては、日本語能力が低い状態で入学し、教育が必要なため、国際教養コミュニケーション学科との連携を図り、指導を行っている。	留学生生活指導委員会 規程 留学生生活指導委員会 議事録	
		<p>●鍼灸学科 現在留学生は在籍していない。</p>			特になし
		<p>●柔整学科 現在留学生は在籍していない。</p>			
		<p>●口腔保健学科 留学生生活指導委員会に定期的に参加し、クラス担任と留学生部が情報共有を行っている。</p>		留学生生活指導委員会 規程 留学生生活指導委員会 議事録	
<p>●日本語学科 留学生生活委員会を定期的に開催している。 担任および留学生部が日常生活支援を行っている。日本語学科教員と留学生部は十分な連携が取れている。</p>					

		<p>●国際教養コミュニケーション学科 留学生生活指導委員会を定期的に開催している。留学生部に支援をお願いしている。 教員と留学生部との連携を密に取っている。 大学への準備機関の意味合いを持つ学科なので、世話をしすぎないように、自主性を育てる方針をとっている。程度を検討するために、専任教員の相談体制を強化している。</p>		
--	--	--	--	--

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>クラス担任が学生相談を日常的に行い、学修成果を高める。 全学的な問題は学生生活委員会が扱う。 留学生の日常生活支援は、留学生部が担当し、定期的に留学生生活指導委員会を開いている。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	経済的困難の学生は年々増加の傾向にある。相談にきた学生については、個々の状況に応じて対応することが重要であると考えている。	●全学科 特待生入試制度を設け、最大 50 万円の学費を免除している。経済的困難な場合に分納、延納制度を設けている。災害時、傷病時、弔慰金を学生慶弔見舞い規程を設けている。教務部（担任）と事務部を中心に日本学生支援機構（公的制度）の相談や申込みなどを実施している。また、経済状況について保護者、学生と面談を行う。	経済的に困難な学生は学費のみならず、生活も困窮している場合がある。そのような学生に対し、一定の基準を満たすことを条件に本校独自の奨学金制度を検討する必要がある。 【基準】 授業態度、勉学意欲、クラス貢献度、授業成績など、多角的にも判断する。	学生募集要項 授業料納入規則
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	教育機関として、健康管理を行う体制整備は必要不可欠であると考えている。	●全学科 日常的な健康管理を行うとともに、年に1度定期健康診断を実施している。また、禁煙講習会、エイズ予防講習会なども実施し、健康管理に興味を持てるように努めている。体調不良学生が利用できる保健室を設けている。IGLグループ内にクリニックがある。	保健室の利用に関しては各学科で対応している。IGLグループ内クリニックとの連携を強化する。	行事予定

5-19-3 学生寮の設置などの生活環境 支援体制を整備しているか	学生寮等を設けて生活環境を 確保することは必要であると 考えている。	●全学科 専用の女子寮・学校借上男子寮(留 学生対象)を設けている。 不足する場合は、不動産業者を紹 介するなどの支援を行っている。 留学生が入寮している寮は、定期 的に巡回し、生活指導を行ってい る。	特になし	学生寮案内チラシ
5-19-4 課外活動に対する支援体制を 整備しているか	多様・多忙な学生生活に潤い を与える課外活動を充実させ る事が望ましいと考えてい る。	●全学科 柔道部・中国武術部・サッカー部・ 野球部・バスケットボール部が顧 問のもとに活動を行っている。 大会参加に対し、補助等も行っ ている。	特になし	特になし

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全員が健康で豊かな学生生活を送ることができるよう、きめ細かい支援を果 たすことが課題である。 学生生活指導委員会が学生の生活実態を充分把握したうえで、学修成果が出 るよう支援体制を整える。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	学修支援・生活指導等の面で保護者との連携は不可欠であると考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ●介護福祉学科 ●鍼灸学科 ●柔整学科 ●口腔保健学科 必要に応じて、個別に保護者と電話または面談し、面談記録を作成し学科で共有している。また、保護者との連携体制構築のため、保護者会を実施した。	入学前から保護者との連携体制を構築する。	成績通知表の送付
		<ul style="list-style-type: none"> ●日本語学科 留学生について気になることがあった場合は、早い段階で保護者連絡を行っている。	真面目な学生や成績優秀な学生は、どうしても保護者連絡の優先度が低くなる。彼らの活躍をどう知らせるか、方法を検討する。	特になし
		<ul style="list-style-type: none"> ●国際教養コミュニケーション学科 留学生に対しては、生活態度や学費の面で問題がある場合のみ、留学生部を通じて保護者への連絡を行っている。	特になし	生活指導記録 (infoclipper)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学から卒業まで、保護者との密接な連携体制を維持・強化していく。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会・業界等との連携を密にして、卒業生への支援体制を整備することは重要であると考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ●介護福祉学科 ●鍼灸学科 ●柔整学科 ●口腔保健学科 同窓会が組織されている。卒業生の教員が中心に活動しており、状況を把握している。卒業生にも図書室を開放しており、本や資料の貸し出しも行っている。	学生管理（支援）システムを活用して、さらに連携を深めていく。 同窓会との日常的連携を深めていく。	同窓会 HP 同窓会会則
		<ul style="list-style-type: none"> ●日本語学科 本学科卒業生は高等教育機関に所属するため、そこでの指導に一任している。	実態を把握することが重要だと考えている。	特になし
		<ul style="list-style-type: none"> ●国際教養コミュニケーション学科 個人的に問い合わせがあった場合は教員が対応を行う。卒業生の動向を知るために、進学先との連携強化を図っている。	近隣の大学との連携を深め、I G Lの知名度を上げることが可能な学生を送り込みたい。	

5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	卒業生に対して再教育を行うことは、卒業生にとっても、在校生にとっても将来展望を持ち、また安心感を持つ機会となるので産業界等の連携は重要であると考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ●介護福祉学科 ●鍼灸学科 ●柔整学科 ●口腔保健学科 卒業生が訪ねて来た時に、講習会の情報を連絡している。 同窓会主催の研修会を支援し卒業生のキャリアアップを支援している。 柔整学科は開業セミナー（全 5 回）を実施した。	教育課程編成委員会のご意見を活用して、卒業生の再教育の場を増やしていく。	介護実習の要綱 社会福祉現場実習の要綱
		<ul style="list-style-type: none"> ●日本語学科 本学科では卒業生が社会人の再教育プログラムの要件に該当するケースがないため、設けていない。	特になし	特になし
		<ul style="list-style-type: none"> ●国際教養コミュニケーション学科 本学科の卒業生が社会人の再教育プログラムの要件に該当するケースがないため、設けていない。		
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	学校の教育機能を社会人に提供する事は望ましい。IGLブランドの強化になり、ひいては本校への学生募集にも貢献することになるので重要であると考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ●介護福祉学科 ●鍼灸学科 ●柔整学科 ●口腔保健学科 社会人に対して、既修得科目の認定を行っている。	特になし	特になし
		<ul style="list-style-type: none"> ●日本語学科 ●国際教養コミュニケーション学科 留学ビザでは社会人や就労学生を受け入れることがないため、設けていない。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育の質向上のため、I G Lのブランド力を高めるためにも、できるだけ多くの卒業生・社会人に向けたアプローチを継続的に展開していくのが望ましい。</p>	<p>本校は同窓会組織が機能しており、同窓会会員だけでなく、在校生も研修会参加等、様々なかたちで支援を行っている。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>「養成施設指導要領」・「専修学校設置基準」・「日本語教育機関の運営に関する基準」で義務付けられている施設・設備等は、法令等の基準通りに完備している。</p> <p>業界等のニーズに即した設備・備品等は精査して教育上必要不可欠な物に関しては、耐用年数を超えた施設・設備等の更新を中期計画に基づき順次行っている。</p> <p>介護福祉学科、口腔保健学科は実施要綱等を整備してそれぞれ学外で介護実習、臨床実習を行っている。鍼灸学科、柔整学科は校内の附属鍼灸院・接骨院で学生指導にあたりるとともに、地域の治療院訪問等及びで現場実習を進めている。</p> <p>防災に対するハード面は整備されている。防火訓練・災害避難訓練等について、消防署の協力を得て実施してきた。</p>	<p>校舎と同じ区域に、母体グループの高齢者施設・乳幼児施設があることで、グループをあげた協力体制による実践的な教育指導が可能である。</p> <p>平成 26 年 8 月 20 日、広島市域集中豪雨による建物被害の教訓から、悪天候が予測される段階で事前に起こりうる被害を未然に防ぐ努力を行った。</p> <p>また、休講措置など緊急時の学生対応の実施における連絡体制の強化を図った。</p>

最終更新日付

2018 年 6 月 29 日

記載責任者

永見 晴美

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	関係法令で定められた施設・設備・教育用具等を備え、各学科の教育目標に対応できるように整備することが重要であると考えている。 教育機器等については、時代に即応した整備が不可欠であるが、同時にそれを適切に活用、管理する体制を確立することも必要と考える。	中期計画に基づき、計画的に施設・設備の補修を行った。 ① 空調機入替え 4階4教室・5階図書室 ② 1～4階 トイレ手洗い前鏡の入替え ③ 口腔保健学科 デンタルチェア新規購入及び機器備品修繕 ④ 鍼灸学科 骨格模型新規購入	中期計画に基づく入替えや補修は計画的に実施できたが、予定外の修繕や細かい箇所の老朽化対策を並行して計画する必要がある。	養成施設等の設置基準資料 中期計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設備・教育用具は業界等のニーズに即した対応が必要不可欠となる。教育にとって必要な機器備品は順次揃えている。	施設・設備の修繕計画については、グループ内の営繕部門が専門的な視点で参画している。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

6-23 学外実習・インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学生の社会的学びとして大切であると考えている。	学外実習は法定実習はもとより、他の実習についても教育課程上に位置づけられている。実施に際し、要綱等に評価基準を明確にし、受入れ施設等と綿密に打合せを行っている。 介護福祉学科は実習後に報告会を実施し、実習先からの参加者を交え有意義な情報交換を行っている。 海外短期研修は、国際教育という理念に基づく教育実践の場として鍼灸学科・柔整学科が上海中医薬大学で研修を実施した。	引き続き実習先との連携を強化し、課題や問題点の解決に向けた取り組みを行う必要がある。 鍼灸学科・柔整学科は、新カリキュラム施行に伴う実習先の開拓に向け、学科を上げて取り組む。	行事予定 実習施設訪問指導 報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習は法令等の基準により指定されているものを始め、教育目的達成と人材育成のために必要なものをカリキュラムに位置づけて実施している。 鍼灸学科・柔整学科の新カリキュラム施行に伴う実習先の開拓を強化する。 インターンシップは実施していない。	学外実習を行った結果、記録・コミュニケーション能力をさらに高める指導力向上が課題である。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	消防署の指導の下で、自衛消防組織を編成し、火災・防災避難訓練を定期的実施することが重要であると考えている。	11/21 通報訓練・避難訓練・消火訓練を実施した。 3/19 委託業者による消防設備及び器具の年次点検を実施した。	昨年度の課題であった、行事予定に組込むことができなかったため、事業計画の項目として位置付ける。	消防計画 自衛消防隊総合訓練実施計画
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	安全管理体制の整備は学生及び教職員の安全を守るために重要であると考えている。	新入生自動車通学者を対象に、「交通安全講習会」を実施した。また、今年度初の試みとして、留学生対象に「自転車安全講習会」を実施した。	学生の安全確保、教職員の危機管理について、更なる安全管理体制の整備を行い、留学生の増加に伴い、日本の交通ルール・マナー等について指導を強化する。	学生・生徒災害傷害保険

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に関しては、年1回の消防設備の点検及び防災訓練を実施した。安全管理体制については、連絡体制を再確認し、事故防止に努めたい。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受け入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高校訪問活動や HP 等からの募集要項請求、進学業者を通じた進学ガイダンス・校内ガイダンスやオープンキャンパスによって、高校生はもちろん、社会人に向けた適時の情報提供も行い、国家資格取得や本校への興味・関心を抱く、仕掛けづくりに取り組んでいる。</p> <p>募集活動を効率的かつ効果的に展開すべく、教務部・事務部と連携を取り、学校を挙げて学生募集に取り組む姿勢を明確にするとともに、“獲得したい学生像”をもとに下記項目を抽出し、それぞれに対する募集活動の計画を立案・実行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国家資格を取得し、安定した就職先・収入源を望む高校生・社会人 ②医療系の資格取得を希望する高校生 ③スポーツトレーナーを志望する高校生 ④介護職が要職となる地域（過疎地・山間部等）の高校生 ⑤活躍する本校卒業生の姿に、将来の可能性を見出だす高校生 ⑥転職を検討中のモチベーションや意識の高い社会人 ⑦鍼灸院、接骨院、整骨院の開業に不安を抱く社会人 <p>高等学校等の実情に合わせた効果的な募集活動を展開している。</p> <p>入学試験委員会規程を定めて合否選考基準等を明確にし、選考を行っている。</p> <p>学納金は原価をもとに算定し、他校の実態と社会情勢を踏まえて検討し、校務運営会議において決定し、評議員会・理事会の承認を得ている。</p> <p>授業料は半期毎の納入方法を採用し、入学意思を確認する時期に納入させている。</p>	<p>高等学校の教員を対象に毎年 6 月に学校説明見学会を開催し、本校への理解を深める活動を行っている。この活動を通し、進路指導の現場における、本校に対する理解を深め、生徒の志望に対して本校の特性や利点が相応しいことを訴求していただけるパートナーシップの構築を目指している。</p> <p>上記項目の対象者への通常の募集活動以外の主なアプローチは下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①⑥「歯科衛生士の魅力・体感講座」11月26日開催 社会人を対象としたセミナーで、国家資格・職業の魅力、待遇面等を周知し、新たな資格取得希望者の掘り起こしを行った。 ②④リーフレット「資格×シゴト×強み カタログ」7月新規作成 国家資格取得の啓発や本校の魅力をコンパクトにまとめたリーフレットを新規作成。資格・職業への理解、本校の知名度アップに取り組んでいる。 ③⑤小冊子「IGL Sports Trainer's Story」10月新規作成 近年ニーズの高まりがみられるスポーツトレーナーを志望する高校生を対象に、現場の第一線で活躍中の本校卒業生 15 名を取り上げた小冊子を新規作成し、幅広く配布を行い、PR に努めている。 ⑥⑦「接骨院・整骨院開業セミナー」全 5 回開催（10 月～2 月） 社会人を対象とした、外部講師と本校教員によるセミナーで、開業と継続のノウハウを伝授し、新たな資格取得希望者の開拓を行った。 また、関係先治療院とその顧客に対し、「教育訓練給付金・教育訓練支援給付金」の情報発信を継続的に行っている。 <p>その他、12 月から 1 月にラジオ CM 放送（広島エフエム）、2 月には広島市男女共同参画推進センター、広島市産業振興機構とタイアップした介護体験講座、治療院開業セミナーを開催し、知名度アップに主眼を置いた活動も精力的に展開した。</p>

最終更新日付	2018 年 6 月 29 日	記載責任者	有田 耕壮
--------	-----------------	-------	-------

7-25 学生募集活動は、適切に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	本校の教育理念・教育活動への理解のため積極的に取り組んでいく方針としている。	「伝えたい情報を伝えたい人に提供する」ことを意識し、ガイダンスへの参画数、重点校への訪問数を増加させている。また、多方面に広く訴求する広報ツールを作成し、資格・職業・本校の魅力を積極的に PR している。	定員充足に向けて、組織的かつ戦略的な広報活動の展開を常に模索している。	学校ホームページ 学校案内パンフレット 学生募集要項 各種広報ツール
7-25-2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	法令を遵守し、幅広く職業教育の有効性と、本校の優秀な指導力を広報していくことが必要と考えている。	高等学校等の実情に合わせた効果的な募集活動を展開している。	資格・職業の魅力、職業教育の意義、それに付随する本校の有用性を募集活動の中で強く訴求していく。	学校ホームページ 学校案内パンフレット 学生募集要項 各種広報ツール

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育力・就職力、充実した学習環境や卒業生の活躍を適時に効果的に幅広く PR し、定員充足につなげていきたい。	多くの高等学校教員が専門学校や職業教育の意義・役割を理解していないことを真摯に受け止め、資格・職業に対する正しい理解を深める啓発活動を展開している。また、この活動を通して、“獲得したい学生像”をアピールし、最終的には進路指導の現場において、生徒の志望に対して本校が第一選択肢となるよう訴求していただく、真のパートナーシップの構築を目指している。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	有田 耕壮
--------	------------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	選考基準を明確にして、選考を行うことが必要と考えている。	入試に関わる案件は大小問わず、入試委員会にて合議し、高校生・社会人の実態に即した基準になるように整備し、適切に運用している。	特になし	学生募集要項 早期エントリーシート
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考での学生実態等を把握して授業改善に活用することが必要と考えている。	入学内定後、入学前学習課題に取り組みせ、個人ごとの学習面における課題を抽出している。また、修業年限に見合った学習計画を立案し、留年者を極力出さないように留意している。	学生個別の学習上の課題や学習意欲を早期に把握し、学力レベルに応じた個別のフォローが必要となる。	入学前サポートプログラム資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考データや入学前サポートプログラムデータを学科ごとに共有・活用し、卒業までの修学を円滑に進める。	入学選考データや入学前サポートプログラムデータを有効活用し、入学後の指導において確実に反映させ、極力留年者を出さないように、個別対応も視野に入れていく。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	有田 耕士
--------	------------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	教育活動実態に合わせた学納金を算定することが重要であると考えている。	学納金は原価をもとに算定し、他校の実態と社会情勢を踏まえて検討し、校務運営会議での決定を受け、評議員会・理事会の承認を得ている。	特になし	学生募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について適正な取扱いを行っているか	入学辞退者について募集要項に記載し、授業料等について適正な取扱いを行うことを方針としている。	入学前月末までに意思を示した辞退者に対し、授業料の返還を行っている。	特になし	学生募集要項 授業料納入規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育活動の実態に即した学納金の算定を行っていく。学納金は原価をもとに算定し、他校の実態と社会情勢を踏まえうえで金額を検討し、校務運営会議での決定を受け、評議員会・理事会の承認を得ている。	授業料については、年間2回分割納入方式を採用し、延納・分納の徴収猶予制度を設け、個々の状況に応じた対応を行っている。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	有田 耕壮
--------	------------	-------	-------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）																		
<p>収入を留学生の入学者増に依存せず、日本人学生の学生募集を強化し、安定的な財源確保に全力を尽す。</p> <p>再三評価に耐えうる学校環境を整備し、教育の質保証・向上に努める。</p>	<p>日本の大学等に入学を希望する外国人留学生に対し、日本語教育及び文化等の教育を行う 2 学科を設置している。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 20px;"> <tr> <td style="text-align: left;">[学科名]</td> <td style="text-align: right;">[在籍者数] ※全学年</td> </tr> <tr> <td>・介護福祉学科</td> <td style="text-align: right;">47 (定員 160)</td> </tr> <tr> <td>・鍼灸学科</td> <td style="text-align: right;">50 (定員 90)</td> </tr> <tr> <td>・柔整学科</td> <td style="text-align: right;">65 (定員 90)</td> </tr> <tr> <td>・口腔保健学科</td> <td style="text-align: right;">99 (定員 150)</td> </tr> <tr> <td>・日本語学科 (4 月入学生)</td> <td style="text-align: right;">110 (定員 150)</td> </tr> <tr> <td>・日本語学科 (10 月入学生)</td> <td style="text-align: right;">33 (定員 50)</td> </tr> <tr> <td>・国際教養コミュニケーション学科</td> <td style="text-align: right;">37 (定員 40)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;"><u>計 441 名</u> (定員 730)</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">※2018 年 5 月 1 日現在</p> <p>学校法人が経営改善の具体指針として、これまでの中期計画に変わり、2017 年 12 月に中長期基本計画（H30～H34 年度／5 年間）を策定した。</p> <p>特に「財務」の項目は全ての部門に関連しているため、次年度以降は、教職員が収支予算を把握し経営改善体制の基礎づくりを行う。</p>	[学科名]	[在籍者数] ※全学年	・介護福祉学科	47 (定員 160)	・鍼灸学科	50 (定員 90)	・柔整学科	65 (定員 90)	・口腔保健学科	99 (定員 150)	・日本語学科 (4 月入学生)	110 (定員 150)	・日本語学科 (10 月入学生)	33 (定員 50)	・国際教養コミュニケーション学科	37 (定員 40)		<u>計 441 名</u> (定員 730)
[学科名]	[在籍者数] ※全学年																		
・介護福祉学科	47 (定員 160)																		
・鍼灸学科	50 (定員 90)																		
・柔整学科	65 (定員 90)																		
・口腔保健学科	99 (定員 150)																		
・日本語学科 (4 月入学生)	110 (定員 150)																		
・日本語学科 (10 月入学生)	33 (定員 50)																		
・国際教養コミュニケーション学科	37 (定員 40)																		
	<u>計 441 名</u> (定員 730)																		

最終更新日付	2018 年 6 月 29 日	記載責任者	永見 晴美
--------	-----------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	財務基盤を安定させるためには、定員に見合う入学者を確保することが不可欠と考えている。	収入源である学生募集について、特に減少の著しい日本人学生の確保に向けて全教職員で取り組む。併せて、経費削減を強化する。	次年度以降は、中長期基本計画に基づく年度別の収支予算達成のための指標を数値化・具体化していく。	中長期基本計画 財務関係書類
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	安定的に学校運営をするために財務分析は必要と考えている。	学科・部門別の収支状況を教職員に周知した。	法人本部との連携を強化し、より具体的な改善事項を明確にする。	財務関係書類

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的な財務運営を行うために法人と学校が連携して運営方針を検討する必要がある。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	教育目標との整合性を図る事業計画を策定し、その計画に基づき単年度予算だけでなく中期計画も策定すべきであると考えている。	既存の中期計画に変わり、2017年12月中長期基本計画（5年間）を策定した。	教職員が、経営を意識した予算編成を行う必要がある。	事業計画
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	事業計画により予算を策定し、適正に執行すべきであると考えている。	予算の策定にあたっては、教職員が前年度以上に、収支を意識して改善に取り組む事ができた。	教職員が、学科・部門内の予算執行状況を把握し、適正な執行管理を行う必要がある。	経理規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標との整合性を図り、適正な予算執行管理を行う。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	寄付行為等に基づき、監事による会計監査を適切に実施すべきと考えている。	会計監査については、法人の所管で、公認会計士による外部監査、及び監事による内部監査を適切なスケジュールで実施しており、指摘事項があった場合には適切な是正措置を講じている。	特になし	財務関係書類

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計監査は、公認会計士による外部監査、及び監事による内部監査を適切なスケジュールで実施しており、指摘事項があった場合には適切な是正措置を行っている。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備して適切に運用することは重要であると考えている。	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、IGL学園のHPに「財務に係わる情報」として掲載し公開している。 情報公開対象者には校内での閲覧及び写しの交付ができるよう公開対象文書を整備している。	ホームページ等を活用した公開方法については、今後も工夫を重ねていく必要がある。	学校 HP 校内閲覧用公開対象文書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、IGL学園のHPに「財務に係わる情報」として掲載し公開している。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門学校の教育に関わる各種の法令及び専修学校設置基準、また、法令等の指定学科にあってはその指定に関わる基準等を遵守し、適切な運営をしている。</p> <p>セクシュアル・ハラスメント等ハラスメント防止のための規程を制定して、運用している。</p> <p>教職員に対しては、毎年度始めの教職員会議において、法令遵守に関する啓発を行っている。適切な学校運営を行うための細則や規程類を整備しており、周知及び適切な運用を推進していかなければならない。</p> <p>在学生に対しては、毎年度始めのオリエンテーションにおいて、「学生便覧」を配布して、学修に関する諸手続、学生生活に係る法令を遵守するよう周知している。</p> <p>個人情報については、その重要性を十分に認識して、学校法人全体の取り組みとして各種情報の保護を図っている。</p> <p>本校では、平成 18 年 12 月に自己点検・自己評価委員会規程を定めて、自己点検・自己評価を行ってきた。平成 27 年度から私立専門学校等評価研究機構の評価基準に従って点検・評価を行っている。</p> <p>平成 25 年 12 月より文部科学省ガイドライン及び職業実践専門課程に要求されている全項目について、情報公開を開始した。</p>	<p>教育活動の更なる質の保証・向上のため、第三者評価の受審を前提とした取り組みを行う。</p>

最終更新日付

2018 年 6 月 29 日

記載責任者

永見 晴美

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	専門学校の教育に関わる各種の法令及び専修学校設置基準、また、法令等の指定学科にあってはその指定に関わる基準等を遵守し、適切な運営をすることは重要であると考えている。	専門学校の教育に関わる各種の法令及び専修学校設置基準、また、法令等の指定学科にあってはその指定に関わる基準等を遵守し、適切な運営をしている。	特になし	学生便覧

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、専門学校の教育に関わる各種の法令及び専修学校設置基準、また、法令等の指定学科にあってはその指定に関わる基準等を遵守し、適切な運営をしている。セクシュアル・ハラスメント等ハラスメント防止のための規程を制定して、運用している。</p> <p>適切な学校運営を行うための細則や規程類を整備しており、周知及び適切な運用を推進していかなければならない。</p> <p>在学生に対しては、毎年度始めのオリエンテーションにおいて、「学生便覧」を配布して、学修に関する諸手続、学生生活に係るを規則を遵守するよう周知している。</p>	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報については、その重要性を十分に認識して、学校法人全体の取り組みとして各種情報の保護を図る必要があると考えている。	個人情報については、その重要性を十分に認識して、学校法人全体の取り組みとして各種情報の保護を図っている。	学校内の個人情報が厳格に保護されているか、常に点検する必要がある。	個人情報に関する規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報については、その重要性を十分に認識して、学校法人全体の取り組みとして各種情報の保護を図っている。 また、「個人情報保護に対する基本方針」を、校舎内の適切な場所に掲示するとともに、在学生に対しては、毎年度始めのオリエンテーションにおいて啓発の機会を設けて実施している。	学外実習が定められている学科については、事前オリエンテーションで個人情報に関する指導を適切に行っている。 増加が著しい留学生への指導を強化している。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	校長を中心に項目毎に担当責任者が自己評価を行い、次年度以降の指針にすることを方針としている。	自己点検・自己評価委員会規程を定めて、自己点検・自己評価を行った。	結果的に今年度は教職員の勉強会の実施ができなかったため、次年度は実施する事を検討している。	学校 HP 自己評価
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己評価は広く社会に公表することが重要と考えている。	ホームページで公表している。	特になし	学校 HP 自己評価
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	学外関係者による「学校関係者評価委員会」で評価を行って学校改善に取り組むことは重要と考えている。	評価結果による改善点に対して、迅速に取り組んでいる。	特になし	学校関係者評価報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果を毎年まとめて公表すべきであると考えている。	ホームページで公表するため準備中である。	公表に向け、評価結果の整理について協議を行う。	学校 HP 自己評価

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 26 年度からは私立専門学校等評価研究機構の評価基準に従って点検・評価を行い、年 2 回学校関係者評価委員会を開催しているが、評価結果の公表についての取り組みを強化する必要がある。	特になし。

最終更新日付	2018 年 6 月 29 日	記載責任者	永見 晴美
--------	-----------------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的にしているか	学生・保護者・関連業界等に対して教育情報の提供は、重要であると考えている。	学校案内パンフレット・ホームページを中心にブログ・facebook・LINE等のSNSを積極的に活用し、教育情報の公開を行っている。	学生・保護者の視点に立った教育情報を提供する必要がある。	学校 HP

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業実践専門課程の規程に基づいた情報公開を行った。 学生や保護者の信頼を得るため、今後もわかりやすい情報公開を積極的に行っていく。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	永見 晴美
--------	------------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>地域自治会・子ども会からの依頼に基づく行事支援、同窓会主催の研修会を学校施設内で開催するなどの協力をしている。</p> <p>日本語学科等に学ぶ留学生と日本人学生が日常的に交流して、母国文化を尊重しながら国際交流を行っている。交流は日常的であり、ランチ交流会などを行っている。</p> <p>介護福祉学科においては実習先からの依頼をはじめ、積極的に推進・支援している。鍼灸学科・柔整学科はスポーツ大会に参加して救護活動を行っている。</p>	<p>特になし。</p>

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校法人の性質上、社会や地域に貢献することが大切であると考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治会、子ども会からの同窓会主催の研修会、各種スポーツ大会等での救護ボランティア等を学校施設内外で行うなどの活動をした。 ・「資格教養講座」として高等学校で資格内容の講義を行っている。 ・学園祭を一般に開放し、地域との繋がり場を設けている。今年度は映画「ケアニン」の無料上映で、福祉・介護の啓発事業に貢献した。 ・国際教養コミュニケーション学科は、今年度初の試みとして地域クリーンボランティアを実施した。 	地域に根差した学校の役割として、今後も様々な取り組みで、積極的な社会貢献・地域貢献を行っていく。	資格教養講座依頼書 研修・ボランティア活動・地域ならびに社会貢献活動実績リスト
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	留学生の受入は、国としての方針でもあり、留学生が卒業後に日本や母国における日本企業で就職するために職業教育機関である専門学校は役割を果たす必要があると考えている。	学内の留学生・日本人との国際交流をはじめ、ベトナム青少年センター生徒との来日交流を学校全体で受け入れた。	国際的な学校として、より積極的に国際交流の取り組みを強化していく。	外国人人数 教育機関の選定結果 ランチ交流会

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
福祉・医療の学校として、地域に根差した取り組みを行う。 多くの留学生が在籍している学校ならではの国際交流を実施している。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	福祉・医療系専門学校の特徴を發揮する場としても、ボランティア参加を奨励・支援することが重要と考えている。	介護福祉学科においては実習先からの依頼をはじめ、積極的にボランティア活動を推進・支援している。鍼灸学科・柔整学科はスポーツ大会やフェスタに参加して救護ボランティア等を行っている。	より一層のボランティア参加の機会を増やしていくために、学校として積極的に奨励することを検討している。	研修・ボランティア活動・地域ならびに社会貢献活動実績リスト

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も学生の自主的なボランティア活動等を学校として支援していく。	特になし。

最終更新日付	2018年6月29日	記載責任者	賀川 一樹
--------	------------	-------	-------